

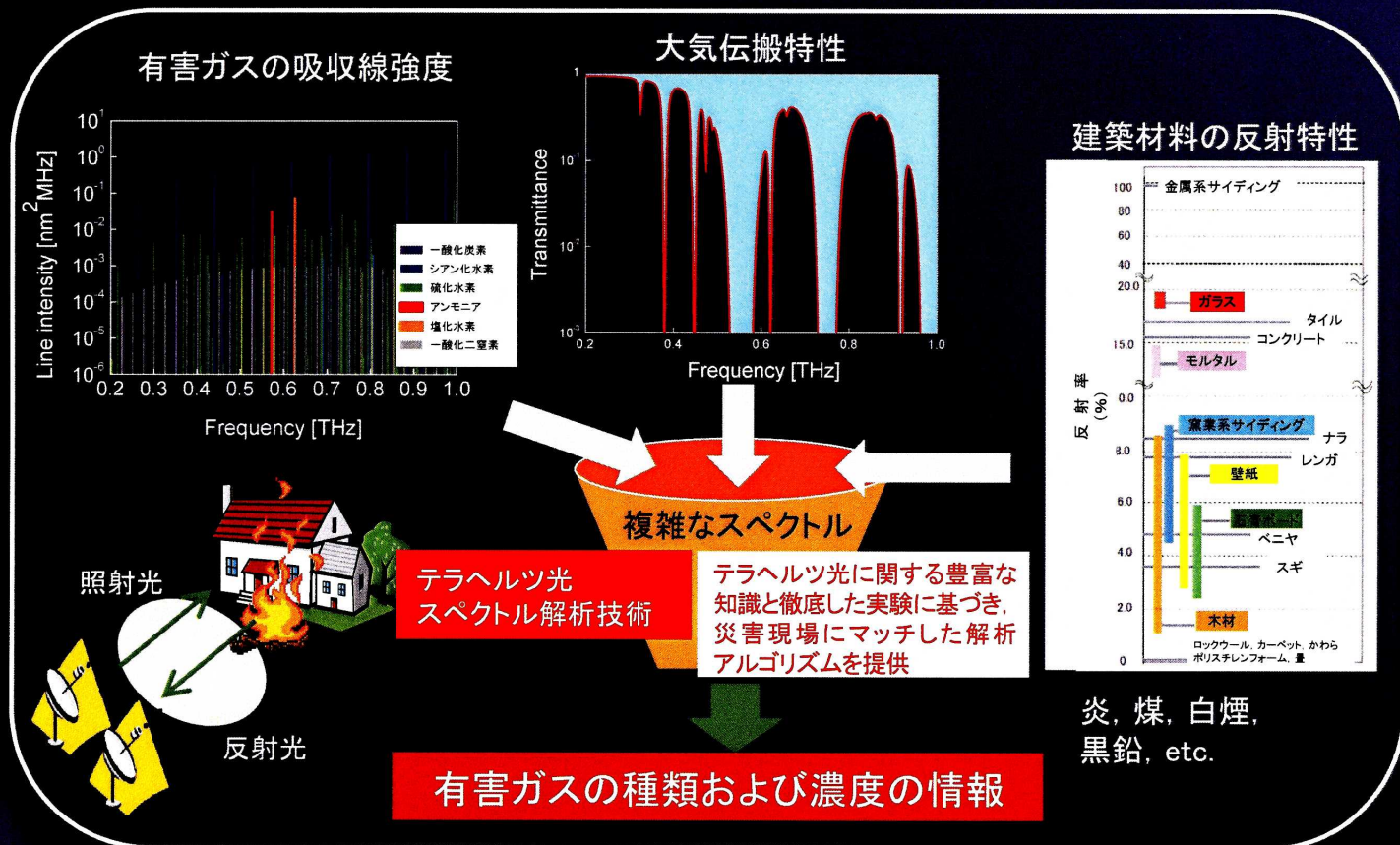
遠隔有害ガス検知技術の開発

弊社のテラヘルツ技術は最先端の研究開発に利用されています。

テラヘルツ帯ケモメトリックスの開発

テラヘルツ光の特徴である指向性、透過性、ガスの特定性を利用して、離れた場所から有害ガスや物体判別を行うための技術開発を行っています。

スペクトルデザインでは、複雑なスペクトル波形から有害ガスの濃度を測定するデータ解析アルゴリズムの開発を行っています。



テラヘルツリモートセンシングの利用が期待される現場



火災現場



環境



立入禁止区域

(独)情報通信研究機構(NICT)から「ICTIによる安全・安心を実現するためのテラヘルツ波技術の研究開発」を受託。弊社は煙霧や火災がある災害現場で発生する有害ガスを遠方から検知するためのデータ解析技術の開発を担当しています。プロジェクト参画機関：NTT、東京大学、名古屋大学、産業技術総合研究所、NEC、日本ガイシ（順不同）